

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	八尾市宮西郡住宅(14号棟~18号棟)建替事業(C棟)	階数	地上6F
建設地	大阪府八尾市幸町	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	126人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年11月14日
敷地面積	2,751㎡	作成者	ジャス 木下
建築面積	768㎡	確認日	2024年12月25日
延床面積	3,041㎡	確認者	ジャス 加藤



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

音環境	3.2
温熱環境	3.8
光・視環境	3.9
空気質環境	4.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.6
耐用性	3.3
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	4.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

水資源	3.4
非再生材料の	3.4
汚染物質	4.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	3.5
地域環境	3.4
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・まちなみ景観として、団地として統一感のあるデザインとし、団地として統一感のある沿道景観を形成します。 ・設備配管は耐用性のあるものを採用するとともに、更新性に配慮した配管ルートを確認し適切に点検口等を設けます。		
Q1 室内環境 ・照明は、エンタス及び廊下に「ライトイター」、バルコニーに人感センサーを用いてエネルギーの削減に配慮します。 ・内装にはF☆☆☆☆を使用し、ホルムアルデヒド対応を行います。	Q2 サービス性能 ・設備配管関係は、対応年数の長い材料を選定し、更新に配慮します。	Q3 室外環境(敷地内) ・ボリューム感の軽減など地域の景観や居住性に配慮した計画とします。 ・敷地北東角に広場を設け、ベンチ、高木による日影空間をしつらえ地域住民に憩いの場所を提供します。
LR1 エネルギー ・性能評価: 断熱等性能 等級3を確保します。 ・住戸は専有部が外皮に2面以上する配置とし、採光・通風に配慮します。	LR2 資源・マテリアル ・節水型機器を使用し、水資源の保護に努めます。	LR3 敷地外環境 ・地球環境及び周辺環境に配慮した計画とします。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		八尾市宮西郡住宅(14号棟~18号棟)建替事業(C棟)					
建設地		大阪府 八尾市 幸町					
用途/区分		集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				A	
①	CO2削減	★★★★☆				4	
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				3	
③	断熱性能	★★★★☆				4	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	1 2 3 4 5 6 7		4	
④	エネルギー消費性能	★★★★☆				3	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	★☆☆☆☆		1	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外		評価対象外		
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.5	4
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2.2 温熱環境悪化の改善					4.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					4.0	4
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					3.0	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	-
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							